

車椅子を使って介護体験を行いました。

総合学科 福祉系列3年生

5月26日（木）に、社会人講師の沼田恵子先生の指導のもと「生活支援技術」の授業で、3年生6名の生徒が車椅子を使って介護体験を行いました。校内の坂、校舎の段差などを利用して、車椅子に乗る人、車椅子を押す人のそれぞれの立場になって、車椅子の安全な使い方を学習しました。

介護体験を終えた生徒は「押す人が安全だと思っても、乗る人の視線が低いので気を付ける必要があることがわかりました」「車椅子に乗っている人は、特に段差を乗り越えるときは危険に感じることをわかりました」「これからも福祉に関して、幅広くしっかりと学習して、介護職員初任者研修課程の修了証を取得して、介護関係に就職したいと思います」などと話してくれました。

本校の総合学科福祉系列では、2年間の福祉の授業（講義・演習）の単位を取得することで、介護職員初任者研修課程の修了証を取得できます。

福祉に興味のある中学生は、8月上旬の中学生説明会に、ぜひ参加してください。

1 授業の目的や注意点について説明



2 校門から校舎までの坂で車椅子を押す



3 段差を乗り越える時は、特に気を付けます



4 でこぼこの場所は後輪のみで押します

